

あい 愛 & あい 会

-AI&AI-

FUKUOKA NURSING FEDERATION

福岡県看護連盟だより

令和7年1月15日発行

<http://www.fukukanren.jp>



日本看護連盟
シンボルマーク

Vol. 96

会員数
(令和6年度)

7,167名

2025 迎春



衣装制作：福岡県看護連盟

看護連盟と看護協会の力を結集して 私たちの未来へ繋いでいきましょう

福岡県看護協会大和会長 石田参議院議員 福岡県看護連盟久富会長

Contents

- | | | |
|---------------------|-----------------------------|--------------|
| 02. 新春のご挨拶 | 08. 令和7年度福岡県看護職の予算・政策に関する要望 | 12. 私たちの支部活動 |
| 04. 看護職員活動報告 | 09. 研修会報告 | 編集後記 |
| 06. 新春特集 新しい年に向かって! | 10. 青年部の窓 | |

新年のご挨拶



福岡県看護連盟会長
久富 瑞穂

新年あけましておめでとうございます。
皆様にはお健やかに良き新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、日頃より連盟活動へのご支援とご協力、誠にありがとうございます。

昨年は元日から能登半島地震が発生し、復興のさなかに水害が発生するなど災害の多い波乱の1年でした。政界も同様で、10月に石破内閣が発足し解散総選挙が実施されました。結果は大変厳しいもので、看護職議員の議席が減ったことは本当に残念に思います。輝く看護の未来構築に向けた看護政策を実現するためには、看護連盟の組織力を強化していくことが必須です。会員の皆様と協力して連盟活動に取り組んでいきましょう。

さらに看護協会と協働して、今私たちの周りに起こっている人材不足、夜勤従事者不足等の様々な看護・介護問題の解決に力を入れていきたいと思っています。県政に、看護連盟・看護協会が協同し問題解決を訴え、早急な対応を要請していきたいと思っています。

看護問題解決のため、社会を動かすことができる強く活動的な看護連盟を目指すためには会員の皆様のご支援ご協力が必要です。皆様と共に頑張っ
て悔いのない1年にしていきましょう。今年が皆様にとりまして、素晴らしく良い年でありますようにご祈念申し上げ、連盟活動につきましては、忌憚のないご意見をお聞かせくだされば幸甚です。

今年も何卒よろしく願い申し上げます。



日本看護連盟会長
高原 静子

新年、明けましておめでとうございます。
皆様に心より新春のお慶びを申し上げます。

今年は「乙巳(きのとみ)」の年です。「乙巳」は、十干の2番目「木」の要素を持ち、草木がしなやかに伸び、横に広がっていくという意味があります。また、「巳(へび)」は神様の使いとして大切にされてきた動物で、脱皮を繰り返すことから不老不死のシンボルとされており、「乙巳」の年は、「再生や変化を繰り返しながら柔軟に発展していく」年になると考えられています。

昨年は年明け早々の能登地震、そして日向灘地震、豪雨災害など、自然災害の多い年でした。多くの困難に立ち向かいながらも、地域社会で医療チームの一員として力を尽くしている看護職の皆様に、深い敬意を表します。そして、その努力と献身が一人ひとりの命を守り、国民の健康を支える原動力となっています。

今年も引き続き、看護職の人材確保、働き方改革、さらには質の高い看護の提供を目指して、看護協会・看護連盟・看護職国会議員・看護を支えていただいている国会議員の皆様とともに力を合わせてまいります。急速に進化する科学技術や社会環境に柔軟に対応し、看護職としての専門性を高めるとともに、よりよい医療福祉の実現に向けて一層の努力を重ねていく所存です。

本年が皆様にとって、健康で実りの多い年となりますよう、心からお祈り申し上げます。

今年もよろしく願い申し上げます。



福岡県看護協会会長
大和 日美子

新年明けましておめでとうございます。
福岡県看護連盟の皆さまには、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

令和7年、西暦2025年の幕開けでございます。皆さまご存じのように2025年問題は、団塊の世代が75歳以上の後期高齢者となり、日本が超高齢社会へ突入することを指しています。これより先日本は、高齢者の医療・介護問題や現役世代の社会保障費の負担が重くなることに加え、生産年齢人口の減少による担い手不足が深刻な問題となってきます。すでに看護職の人材不足は、医療や介護の現場において顕著になりつつあります。

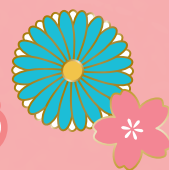
看護職能団体の使命は、地域の医療提供体制を維持し県民の命を守るため県や自治体・関連団体と協働し、保健医療福祉活動に取り組むことにありますが、優先課題は二つ、看護職の確保及び資質向上です。看護職確保対策としては、潜在看護職やプラチナナースの就業支援、離職防止のための職場環境づくりや処遇の改善です。また資質向上については、看護職が専門職として生涯学び続けるための体制整備と啓発を行うことが重要です。看護職の活動が専門職として広く社会に認知されるとともに、すべての看護職が良好な環境の中で就労できるよう福岡県看護連盟と協力してまいります。

今年の干支は巳年(みどし、へびどし)。正確には「乙巳(きのとみ)」の年です。へびは神様の使いとされ、脱皮を繰り返すことから、不老不死のシンボルともされています。今年は特に「再生と変化を繰り返しながら柔軟に発展していく年」と言われています。

看護職の皆さま、そして会員の皆さまのご健勝とご発展をお祈りし、新年のご挨拶とさせていただきます。本年もどうぞ宜しくお願い申し上げます。



看護連盟 看護協会の力を結集して 私達への未来へ繋いで行きましょう



看護連盟と看護協会は、毎年連携充実を目的に全国ブロック毎に合同会議を開催しています。九州ブロックは2024年10月31日～11月1日に熊本県で開催されました。九州各県の両組織の会長、幹事長、役員などの参加のもと、看護連盟と看護協会の更なる連携強化を図っていくことが満場一致の声となって閉会となりました。

福岡県では、看護連盟と看護協会共に、心ひとつにして、大きな連携、協働の輪を広げています。さあ、みなさん、現場の声を積み重ね、看護政策の実現を図り、未来へと続く看護のために、看護職議員の支援の輪を広げていきましょう。

Report

誰も取り残さない
看護と教育

衆議院議員 あべ俊子



新年あけましておめでとうございます。今年も新しい年を迎えることができたこと、大変喜ばしく思います。

前回の衆議院総選挙では厳しいご審判をいただいた中、あべは第二次石破内閣において再度、文部科学大臣を拝命し、これまでに「誰も取り残さない」教育を掲げ、医療的ケア児対応や不登校の課題、過疎地における学校の存続問題、看護教育のあり方、地域に残る人材



ブラジルでのG20教育大臣会合

育成などに取り組むことができました。これも常日頃、みなさまからのご支援とご指導をいただいているお陰です。心から感謝申し上げます。

あべは、岡山県で政治家としてお育ていただきましたが、10増10減で選挙区がなくなり、今回は比例九州ブロックから当選させていただくこととなり、大変ご心配をおかけいたしました。厳しい選挙も力強くお支えくださったみなさまには、必ずや政策でご恩返しをさせていただきます。

かつてないスピードで不確実性や複雑性を増す時代、みなさまの声を聴かせていただき、人材育成のための教育は国の基(もとい)と信じて、日々努力してまいります。看護は、命を慈しみ、大切な人を護るための知識と技術が学べる素晴らしい仕事であると、次世代に胸を張って伝えられるよう看護職の地位向上や環境改善に皆様と共に全力で取り組んで参ります。



文化功労者顕彰式にてお祝いのご挨拶

Report

現場第一主義を
モットーに

衆議院前議員 たかがい恵美子



女性の健康総合センター開設

初春のお慶びを申し上げます。夏の通常選挙を前に組織一丸となって結束を強めている時機と存じます。継続は力です。足元をしっかり固め、ともに前進したいと思います。

何時にも増して健全なる国政運営への期待高まるなか、当方は10月9日の衆議院解散をもって職を解かれま

した。参議院で二期議員を務め、続いて衆議院で一期三年の長きに渡り未熟な議員活動を温かく見守りお支え下さった皆様には、言葉で尽くせぬほど深い感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

これからは皆様のご恩義に報いるべく、鳥根事務所を拠点としながら広く各地へ出向き、細々と社会貢献を続けていく所存です。これまでの経験と実績を活かし皆様のお役に立てる機会があれば幸いです。本年が皆様にとって健やかで繁栄する日々となりますことを心よりご祈念申し上げます。



海士町で対話の会

Report

自然農法がもたらす
恩恵

那珂川市議会議員 ひじ英治



謹んで初春のお慶びを申し上げます。

私が所属する会派では、鹿児島県南さつま市において自然農法の行政視察を行いました。化学肥料を使用せず無農薬で作られた野菜や穀物などは体にも安全で、国がすすめる「緑の食料システム戦略」に裏付けされたものです。国内の食料自給を確保し、世界レベルでの流通に

支障をきたした場合の経済安全保障上においても大変重要な取り組みです。しかしながら、作物を育てるための手間がかかるため、販売価格が割高になる事や、安定的な販路の確保が難しいなどの課題も有ります。何よりも体に安全な食物を育てる事は「医食同源」の実践でもありますので、自然農法が普及する取り組みは大切であると感じました。



視察で自然農法の説明を受ける

Report

現場の声を 国政へ

参議院議員 石田まさひろ



福岡県看護連盟の皆様、日頃より多大なるご支援を賜り誠にありがとうございます。

全国の医療・介護の現場を訪問し、多くの皆様からお話を伺いました。現場の皆様の声をお伺いすると、課題がコロナの前とは変化していることを実感します。例えば、働き方改革が進み、



介護施設訪問

夜勤免除等の子育てしやすい環境が整備され、離職者が少なくなった一方で、夜勤職員が不足して病床縮小の検討を余儀なくされた病院等のお話を伺いました。また、



大学にて講義

看護記録の多さに対する業務負担や、診療報酬改定による病院経営への影響、多様化する患者さんに対する病棟における様々な課題なども伺いました。国政の場では、リアルな看護の現場の声が必要です。また、取り組んで「成果があった!」という事例もぜひ教えてください。

引き続き、看護連盟・看護協会と連携しながら、寄せられたご意見など、国政の場に繋げて参ります。

福岡県看護連盟の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝を心より御祈念申し上げます。

Report

看護職で働く 皆さまのために

参議院議員 友納りお



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

この新しい年を、内閣府大臣政務官という新たな職務をいただき迎えています。



政務官記念撮影

弁護士は司法、国会議員は立法、政務官は行政に携わってお仕事です。看護職の働く環境を整え、安心して働いていただくために、あらゆる立場でかかわることが

できることは大変嬉しいことです。政務官としての仕事は、国会議員として作り上げた政策や法律を、今度は実行する立場になります。法律に基づく制度や法律が皆さまのもとに行き渡るように、適切にPDCAサイクルを回しながらより良いものとなるように取り組んでまいります。



内閣府政務官室にて

看護職の処遇改善、人材確保、働く環境整備、ハラスメント、業務効率化などの看護・医療に関する諸問題には、引き続き、石田まさひろ先生と力を合わせて取り組みます。

看護の現場の声を国政に! 初心を忘れず目の前の課題に1つ1つ丁寧に向き合います。本年が皆さまにとってよりよい一年となりますよう祈念致します。

Report

議員として 看護を見つめる

遠賀町議会議員 野口久美子



令和6年9月28日14時からナースプラザ福岡にて、「今を生きる看護職にもとめられるもの」と題して、約100名の看護職の方々に講義をしました。長年保健師として行政で働き、60歳退職後は、介護保険施設で看護師として5年、その後産業保健の場で7年働き72歳にて統一地方選挙で町議会議員選挙に立候補し当選することが

できました。応援団はすべて70代80代の高齢者集団。選挙のせの字も知らない素人集団の手作り選挙でした。高齢者の多くの知恵を頂きながら、看護職として戦いぬきました。沢山の出会いに感謝の日々でした。

少子高齢社会はまさに看護の出番です。政治は希望、看護は希望を胸に更なる努力を続けて、住みよいまちづくりを目指して努力してまいります。議員はとても楽しい仕事です。



「今を生きる看護職に求められるもの」講義風景



仕事をする中で悩み事もありますが、そんな時は同期と支えあったり、先輩方にアドバイスをもらったりしながら、少しずつ成長していると思います！
 今年は、看護師として成長することとたくさん親孝行したいです。

初めてのことばかりで大変ですが優しい先輩や仲の良い同僚のおかげで毎日楽しく働いています！！これからも明るく楽しくをモットーに頼もしい先輩ナースを目指して頑張ります！



4月からMFICUで働いています。忙しい業務の中でも熱心に指導して下さる先輩方のもと、日々家族の始まりに関わらせて頂いています。夏からは分娩介助も始まり、より緊張感がある現場で、命が誕生する喜びと助産師としての責任を感じています。今後も、振り返りを行い、助産師として成長できるよう精進していききたいと思います。

先輩方のご指導のもと、日々の業務に取り組んでいます。今後も整形外科だけでなく、他科の患者さんも看護できるようになるため、これからも頑張ります♪



新人看護師として入職しました。コミュニケーションをとることが苦手で知識・技術に多くの不安があり患者様とのかかわりに恐怖心がありました。先輩や同期とのコミュニケーションを通し学び患者様との会話に慣れながら勉強も行い頑張っていきたいと思います。



優しい先輩と共に

2025年 新しい年に

コロナ禍で、臨地実習ができないなど看護師たちが、昨年4月入職しました。の出会い(会い)、支え愛、育み愛の響きあいました。そして新人看護師大きな心で見守りました。その笑顔と笑顔、成長した新人看護師抱負をここにお届けします。

患者さんやご家族の変化に良く気づき、カンファレンスでも活発に意見を提案できる、頼もしくかわいい後輩です。今後も成長に期待しています。



研修や日々の業務で先輩方から優しく指導を受け、少しずつ自分で出来ることが増えてきました。今後も先輩方のように患者さんに寄り添った看護が出来るよう頑張っていきたいです。



今年看護師免許を取得し就職しました。最初は不安が強かったです。そんな僕にも「大丈夫？」のさりげない一言や優しく教えてくれる先輩、師長・主任に恵まれ仕事を続けています。今は頼ってばかりで学ぶことも沢山ありますがいつか先輩方に頼ってもらえるような看護師を目指して頑張っていきます。



OP室に配属になりました。先輩に支えてもらい頑張っています。

大好きな先輩看護師さん。いつも優しくたくさんの事を教えてくれています。先輩達のおかげでここまで頑張れました。早く恩返ししたいです。



プリセプターと(右)共にハート♡



新人看護師が集合して、語り合う場を設けてくれました。久しぶりに同期とたくさん語り合えて、これからまた頑張ろうと思えました。同期の存在は大きい！みんなで力を合わせて1年間乗り越えるぞ-----！

向かって！

大変な看護学生時代を過ごした新人看護の現場では、新人看護師と先輩達「あい(愛)&あい(会)」の心と声は大きく成長しました。先輩達も

たちの新しい年に向かっての声、希望、



頼れる先輩!!
いつか
ぼくも...



小児科病棟の七夕会、夏祭り、ハロウィーン、新人看護師みんなで盛り上げました！これからも、仲良く頑張っていきましょう。

強い味方
プリセプター

新人看護師
です

頼もしく
教えてくれる
先輩



覚える事が多く、目まぐるしく過ぎていき悩む日々でしたが、その度に先輩方からの助言や元気をもらい頑張る事が出来ました。今年の抱負は、異常の早期発見を行い患者さんの不安の軽減に繋げるよう心電図検定やACLS取得を目指します。



令和7年度福岡県看護職の 予算・政策に関する要望

令和7年度の福岡県看護職の予算・政策に関する要望書を自由民主党福岡県議団及び、自由民主党福岡県支部連合会へ付託しました。(令和6年11月25日)

昨今の看護職・介護職不足は深刻な問題であり、また2040年問題に向けて新卒看護職員及び在宅領域の看護職員の確保と資質の向上は重要な課題となっていることから、以下の5点について、要望いたしました。また、保健師教育大学院設置推進については11月末に看護系大学学長宛にアンケート調査が実施され、検討が進められています。

看護連盟は、これらの要望の実現に尽力し、看護の輝かしい未来と県民の幸福な社会の実現を目指していきます。

1 看護職員の確保対策

- 1) 訪問看護ステーションにおける新卒看護師の確保と人材育成 **新規**
 - ・新卒看護師の在宅領域への就職促進
 - ・地域で新卒訪問看護師を育成する体制づくりの構築
- 2) プラチナナースの活用に関する支援 **継続**
 - ・プラチナナースを取り巻く就業環境等の実態把握
 - ・プラチナナースのキャリア支援と好事例の情報発信
- 3) ナースセンター事業の拡充による看護補助者の確保対策の実施 **新規**
 - ・看護補助者の職業としての認知度の向上
 - ・ナースセンターとハローワークとの連携による看護補助者確保

2 特定行為研修修了者の支援及び活用促進 **継続**

- ・研修修了者と看護管理者の意見交換会の継続、活用好事例の把握と医療機関や訪問看護ステーション等への情報提供

3 統括保健師の役割発揮と人材育成の充実 **継続**

- ・統括保健師の必要性に関する市町村の理解促進
- ・公衆衛生看護の経験豊かな退職保健師を活用した統括保健師等の人材育成

4 助産師活用推進事業の更なる推進 **継続**

- ・助産師出向試行事業の実施状況を踏まえた助産師活用事業の更なる展開

5 准看護師の進学支援策の強化 **継続**

- ・准看護師の進学に係わる更なる支援策の検討

今に生きる看護職に求められるもの

講師: 遠賀町議会議員 野口久美子



筑豊飯塚病院支部 支部長 長田 孝幸

本研修では、遠賀町議会議員であり、保健師・看護師でもある野口久美子氏を講師に迎え、「今に生きる看護職に求められるもの」というテーマで講義が行われました。野口氏は、保健師・看護師としての視点を活かし、「看護の力は臨床だけではなく多くの場所で活躍できる」との考えを示されました。看護職が社会全体で果たせる役割は医療現場を超え、政策や地域活動など、さまざまな領域で発揮されるべきだと強調されました。また、「今まで当たり前と思っていたことを当たり前にしなない」という視点を持ち、現状に満足せず常に改善を求める姿勢の大切さが説かれました。さらに、「生活者に寄り添った政策」を推進することが、社会の健全な発展において看護職が貢献できる道だとも



述べられました。講義は非常に楽しく、分かり易い内容であり、私たちにとって深い学びとなりました。今回の研修を通じて、看護職として専門性を活かしつつ、社会全体への貢献が求められていることを改めて実感しました。今後は患者や生活者に寄り添い、看護の力を社会に広く役立てるよう努めたいと思います。

九州ブロック政策セミナーに参加して



福岡県看護協会 常任理事 濱田 正美

今回、2日間に亘っての九州ブロック政策セミナーに参加する機会をいただきありがとうございました。1日目の辻本先生のご講演「心を動かす効果的なプレゼンとは」では、相手がもらってうれしいもの、対象に関心を寄せる「心を動かす効果的なプレゼンとは」に繋げてのお話で、改めて相手が何を求めているかを考え伝えることの大事さを再認識しました。また、2日目の友納議員の活動報告で、法務委員会での「民法等の一部改正法」における離婚後の共同親権について、インフォームドコンセント(十分な説明と同意)での、患児の不利益や医療者側の負担を考え、その事に対して取り組まれていること

を知り、医療看護の議員だからこそ気付けることも多いと思いました。看護職が生き生きと働き続けるためにも、現場の声を政策につなげることの重要性を強く感じたセミナーでした。



青年部の窓

新年のごあいさつ

福岡県看護連盟 青年部委員長
宮野 貴紀



皆様新年明けましておめでとうございます。
2024年は激動の一年でしたが、会員の皆様のご尽力であべ俊子先生を国会に無事送り届けることができました。今年も会員一同力を合わせて、看護の声を私たちの未来に届けていきましょう。

また、令和6年度第8回九州ブロックポリナビワークショップin福岡が3月23日(日)に開催されます。ブロックポリナビは全国で九州のみ開催され、全国的に注目を集めています。今年度もハイブリッド形式での開催ですが、特別講師に石田まさひろ先生をお招きいたしますので、ぜひ現地で石田まさひろ先生のお話を聞いていただきたいと思います。開催まで時間はありませんが、九州ブロックの青年部と熱い議論を重ねてより良いポリナビとなるように努力して参りますので、ご期待ください。

そして今年は青年部を支部化をする予定となっております。新しく生まれ変わる青年部支部の活躍も注目していただくと幸いです。

第8回九州ポリナビワークショップin福岡開催のお知らせ

たくさんの皆様のご参加をお待ちしています!!



- 期 日** 2025年3月23日(日)
- 時 間** 13:30~17:00
(開場・Zoom入室開始12:30~)
- 会 場** ナースプラザ福岡 研修ホール
(福岡市東区馬出4-10-1)
- 募集定員** 600名(集合300名、zoom300名)
- 参加費** 無料
- 参加申込** 右記QRコードを読み込みお申込みください



プログラム

- 13:30** 開会
主催者挨拶
来賓挨拶
- 14:00** 講演 「ワークライフバランスについて」
講師 参議院議員 石田まさひろ 氏
- 15:00** グループディスカッション
- 17:00** 閉会

第8回 九州ブロック
ポリナビワークショップ
in福岡

つながる ひろがる 若手の力
~未来につなぐ看護のバトン~

令和7年
日時 3月23日(日)
13:30~17:00(12:30開場)

会場 ナースプラザ福岡 研修ホール
福岡県福岡市東区馬出4丁目10-1
※Zoom参加は原則一人一お申し込みします。

参加 無料

基調講演
石田 昌宏
参議院議員

〒815-0801 福岡県福岡市東区馬出4丁目10-1
ナースプラザ福岡 研修ホール
TEL 092-431-1182
E-Mail office.fukuoka@kcnf.or.jp

主催 日本看護連盟九州ブロック協議会 青年部の学び交流委員会

※お申し込み QRコードを読み込み2月28日までに申込みお願いします。@kcnf.or.jp

令和6年度九州ブロック協議会 会長・副会長・幹事長・支部長・青年部合同研修会報告

令和6年9月14日 宮崎県にて開催



青年部副委員長
小柳 敬

講演テーマ 「新たな選挙戦略」

講師 岡山堯憲(日本看護連盟幹事)

日本看護連盟 岡山幹事による「新たな選挙戦略」の講演を受けて、改めて、国会に看護職の議員を送りだしていかないといけないと感じました。

看護問題解決に向けて看護の政治力を高めるためには、理解者を増やす活動、「数」から「質」へシフトしていく事が重要である事を学びました。働きかけを行っていく上でコンプライアンス対策をしっかり理解し行わなければ公職選挙法違反となります。公示前の時期では事前運動(選挙運動の三要素)に注意しながら、後援会活動および周知活動を継続的に行っていくことが大切であることを、この講演を聞き強く思いました。青年部副委員長として今後の連盟活動に活かしていきます。



青年部副委員長
野邊 友紀

グループワークテーマ 「それぞれの立場で考える選挙戦略」

R6年9月14日(土)に開催された研修会のグループワークでは「それぞれの立場で考える選挙戦略」というテーマで会長・副会長・幹事長・支部長・青年部のグループに分かれ、各県で行っている活動の共有を行いました。青年部グループは、今後の選挙戦略として看護系議員の事を皆に知ってもらうため青年部としての活動内容、その方法などを共有協議した結果、次のような貴重な意見がでました。

- ・「キャラバン活動(10~20分の活動報告)」
 - ・「看護学校訪問(卒業校を中心に)」
 - ・「各施設の研修前に青年部の活動DVDを流す」
 - ・「ポリナビを2回/年開催(1回目は新人看護師を中心に2回目は学生を対象としてテーマを決める)」
 - ・「研修会の質問は手上げ式ではなくチャットを使用し質問しやすい環境を整える」
 - ・「ポリナビをゲームや体操で頭や体を使い楽しい体験型に」
 - ・「2年目を対象に、仕事環境の雑談会(雑談の中から課題と感じている職場の意見を抽出し今後の対策を見つける。青年部はその意見を会議で持ち寄り病院間での情報共有を行い連盟活動へ繋げる)」
- グループワークを通して、今後、青年部の活動に「なぜ看護系の国会議員が必要なのか。いないとどういった事が起きるのか」を関連づけ【知ってもらう】為の継続した活動の重要性を再認識しました。しかし、連盟活動が委員1人1人の負担になってもいけない。今後、青年部として各県の取り組みの継続と併せて、青年部員が仕事と両立できる方法も考える必要があると思います。委員それぞれが活動の意味を知り活動を楽しみ(押し活!?)、看護の向上のために(ワーク)、柔軟な働き方が(ライフ)青年部活動の根幹ではないかと考えました。

令和6年度青年部研修会報告 令和6年11月2日 ナースプラザ福岡にて開催

議員への道 講師:石田まさひろ参議院議員



福岡4支部 青年部委員 眞秀 厚志

福岡県看護連盟青年部では、令和6年度の研修会として看護師・保健師の資格を持ち、参議院議員である石田まさひろ先生をお招きし、「議員への道」をテーマに、石田先生が看護師の資格を取られてから参議院議員となるまでの軌跡についてお話を頂きました。

石田先生は、まだ世間一般ではない時代の訪問看護や、精神病棟で勤務をされたそうですが、中には驚くようなエピソードが沢山あり、機会があればぜひ直接聴いてみて欲しい内容でした。

その時の経験から「看護は他人だけでなく、自分自身を癒す力を持っている」ということを学ばれ、政策を考える上で最も大切にされている事だと語られております。

秘書として看護の世界から離れた際、看護の世界を俯瞰して観ることができ世界観が変わったこと、そして過去の経験から自分を変えたいと思ったことをきっかけに、議員への道を歩み始めたそうです。



厳しい現状の中で必死に看護の世界を支えて下さっている全ての看護師に労いの言葉をかけつつ、「看護師が不足しているのではなく、できる看護が不足しており、それによって皆さんの不満が生じている。看護とは作業ではなく、相手への思いやりを形にして実践し、結果、自身の達成感・充実感に繋がるものだ」と強く訴えられておりました。



青年部と共に

福岡4支部

支部長 石田 恵

福岡4支部は福岡市西区、糸島市を中心に活動しております。今年度の支部研修会を10月19日に「持田ヘルスケア株式会社 山ノ井 仁也先生」をお招きしく高齢者のスキンケアについてご講演いただきました。会員・非会員問わず大中規模病院を始め、高齢者施設や訪問看護ステーションと幅広い分野の方々にお越し頂きました。40名と小規模ではありましたが、アットホームな雰囲気を進める事ができ、参加賞のご当地カレーも大好評でした。場所は異なっても看護ケアについて同じ悩みを抱えながら、熱心に受講されている姿に改めて看護の力を感しました。何より若い

年齢層の方々へ看護連盟活動について知って頂くよい機会となりました。これからも次世代を担う看護職の方々へ、研修会等を通じ看護連盟と一緒に活動できる仲間を増やしていきたいと思ます。



福岡5-2支部

支部長 今村 朋子



福岡5-2支部は、宗像市・福津市の2市からなる宗像地区で、幹事4名と青年部1名で活動をおこなっています。現在の会員数は6施設72名で、年々減少傾向です。会員数を維持する事・増やす事が大きな課題となっています。

そこで、役員会では、研修会を通じて多くの方に連盟活動の必要性を伝え入会を促すことを考えています。研修は興味を引く内容を検討し、案内は看護協会入会施設にお送りしています。昨年は、感染管理認定看護師による「感染対策」をテーマに研修を開催しました。今年は、10月25日に「認知高齢者への関わり～症状理解と身体拘束

最小化に向けできること～」のテーマで老年看護専門看護師による講演を行い、12施設70名の参加者を得ました。研修後のアンケートからは興味深い研修で勉強になったという声を聞くことができました。



また、今年度後期には、看護学生に看護連盟の活動・必要性を知ってもらい入会の機会を作ることも計画しています。これらの活動が、会員数増加につながることを願っています。

今後も一人でも多くの方に看護連盟活動を理解してもらい、一緒に活動できる仲間が増えるように、役員一同話し合いながら活動をおこなって参ります。

会員募集中! 入会のご案内



会員のあなたが会員を増やしましょう!
それが「看護連盟の力!!」
あなたの力が連盟活動を支えます



看護連盟は看護職代表を国政の場に送り、
看護と国民の健康・福祉の問題解決を推進しています。

連盟本部
5,000円

+

福岡県連盟
2,500円

=

年会費
7,500円

賛助会員・OB会員募集 年会費 1,000円

随時
受付中!!

福岡県看護連盟

TEL: (092) 631-1162 FAX: (092) 631-1164
kangorenmei-fukuoka@ace.ocn.ne.jp

●ホームページも是非ご覧下さい!

<http://www.fukukanren.jp/> 福岡県看護連盟会費
無料

学生会員募集

保健師、助産師、看護師または准看護師の資格を得るために就学している学生で、看護連盟の主旨に賛同いただける方を対象としています。ご入会いただきました学生会員の方には、日本看護連盟の広報誌やメールマガジンをお届けいたします。

編集後記

編集長 羽江 和子

2025年 明けましておめでとうございます。
会員の皆様には、つつがなく新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、日本や世界の政治、経済、外交、紛争、災害と大きな変化、変動に見舞われましたが、今年は何のような年になるのでしょうか。福岡県では北九州市議会議員選挙、那珂川市議会議員選挙、福岡県知事選挙があります。そして7月には、参議院議員選挙です。まさに巳年、再生と変化を繰り返す年に立ち向かうことになりそうです。このような時にこそ大切にしなければならない事は、人と人との支え合い、協力、協働することではないでしょうか。そんな思いをこめて、今回の表紙では、看護連盟と看護協会の強い結集力で未来へ繋ぐ心意気をお届けしました。さあ、新たな年を力強く進んでいきましょう。